

科 目 名

プランニングとマネジメント Planning and Management

3年 前期 2単位 選択

松 野 恭 二

概 要

調査に基づいて作成された計画を実現するためには、それに必要な多岐に渡る技術や問題を総合的且つ合理的に管理しなければならない。ここでは、建設工事の施工計画と施工管理に必要な原価管理、工程管理、品質管理、安全管理、環境管理などの管理手法について学ぶ。

履修目標

- 1) 原価管理の目的と重要性を他者に説明できる。
- 2) 工程管理の目的と重要性を他者に説明できる。
- 3) 品質管理の目的と重要性および ISO9001 を他者に説明できる。
- 4) 安全管理の目的と重要性および建設業マネジメントシステムの概要を他者に説明できる。
- 5) 環境管理の目的と重要性および ISO14000 の概要を他者に説明できる。

授業計画

テ ー マ	内 容
1. 施工管理	施工管理の目標、手順、管理機能、PDCA サイクル
2. 施工計画	施工計画の目標、基本方針、内容、事前調査、仮設備、設計図
3. 原価管理	原価管理の目的、コスト分析、建設業原価計算
4. 工程管理の概要	工程管理の目的と意義、横・斜線式工程表
5. ネットワーク工程表	概要、記号とルール、工程管理図、CPM 手法
6. 品質管理の概要	建設業の特徴、建設事業の流れ、品質管理の目的・目標、QC 手法
7. ISO9001	ISO9001 の概説
8. 安全管理の概要	労働災害の現状、安全管理の目的、工事現場における災害防止対策目的、労働災害の定義、管理体制、安全基準、労働安全衛生法
9. 建設業の安全管理	建設業労働安全衛生ガイドライン、リスクアセスメント
10. 環境管理の概要	公害対策基本法、騒音規制法、振動規制法、水質汚濁防止法、大気汚濁防止法
11. ISO14000	ISO14000 の概説
12. 工事現場見学	建設現場において、施工管理の実際を見学する。
13. 工事現場見学	建設現場において、施工管理の実際を見学する。
14. 施工計画書の課題	簡単な工事の施工計画書の作成をレポート課題とする。ここでは工事の内容について説明を行う。
15. 最終試験	履修目標の達成度を評価する筆記試験を行う。

授業方法

テキストを用いた講義、現場見学および施工計画書作成（レポート）により授業を行う。

評価方法

定期試験とレポートにより履修目標の達成度を評価する。定期試験60点以上およびレポート60点以上を合格とする。

教 材

教科書：宮川繁好・わかりやすい施工管理法の手引き・大成出版社